

九州大学テニユアトラック制について

本学は、公正で透明性の高い審査で選抜された優秀な若手研究者が、任期付の雇用形態で自立した研究者として経験を積み、審査を経て安定的な職に就くことができる仕組みを普及・定着させることで、優れた若手研究者を育成し、本学の研究活動の活性化を図ることを目的に「九州大学テニユアトラック制」を実施します。

本学は既に科学技術振興調整費「若手研究者の自立的環境整備促進」事業の採択を受け、平成18年度からテニユアトラック制を前提とした「次世代研究スーパースター養成プログラム」を実施してきました。このプログラムは、優秀な若手研究者の育成とともに「新研究分野の開拓」「既存の研究組織の改革」を目的としていました。このプログラムで構築した基盤をもとに、以下のとおり本学オリジナルの「九州大学テニユアトラック制」を実施します。

「次世代研究スーパースター養成プログラム」において採用された若手研究者は、原則5年間の期限付きで雇用され、自立して独創的な研究を展開してきました。その結果、7人が科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞し、

またテニユアトラック期間終了後13人が本学准教授として採用されています。

九州大学テニユアトラック制の概要

- ① 各部局から、制度の趣旨に沿った若手研究者育成計画を募集する。
- ② 研究戦略委員会や若手研究者育成計画を審査する。採択となった部局は若手研究者の国際公募を実施する。
- ③ 参加部局において、高等研究院関係者及び外部有識者を含む体制で公正で透明性の高い審査を行い、若手研究者をテニユアトラック制教員として採用（雇用期間は5年）する。採用後は高等研究院所属となり、実際の研究教育活動は各参加部局で行う。
- ④ テニユアトラック制教員に対し、①研究費、研究スペース、設備、研究支援者等の研究環境への配慮、②テニユアトラック期間終了後のポストの確保、③学内外の研究者によるメンターの措置等、を通じて自立した研究活動が行えるように支援する。
- ⑤ テニユアトラック制教員採用後3年目に中間評価、5年間の期間終了までに通常教員への採用審査を行う。

九州大学テニユアトラック制(TT制)の概要

